

本製品はEIAJコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99C00F0K01 > < CRA2756-A >

接続・取り付け部品を確認する

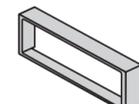
本体関係



① 7.0型ワイドAVシステムTV × 1



② バインドネジ (5 × 6 mm) × 4



④ 化粧パネル × 1



③ 皿ネジ (5 × 6 mm) × 4



⑤ 両面テープ (3連) × 1

コード関係



⑥ 電源コード × 1

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

赤リード線 (アクセサリ電源) は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

青/黄リード線 (パーキングブレーキスイッチ) は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。

接続のポイント

20ピンRGBおよび専用バス、IP-BUSの接続について

端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。(コネクタの接続部分が色分けされています。) 違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

ノイズ防止のために

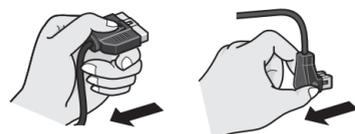
TVアンテナのアンテナコードは、20ピンRGBケーブル、専用バスケーブル、IP-BUSケーブル、スピーカーコード、および電源リード線と束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

ナビゲーションと組み合わせる場合、TVアンテナおよびアンテナコードは、GPSアンテナやナビゲーション本体からできるだけ離して配置してください。

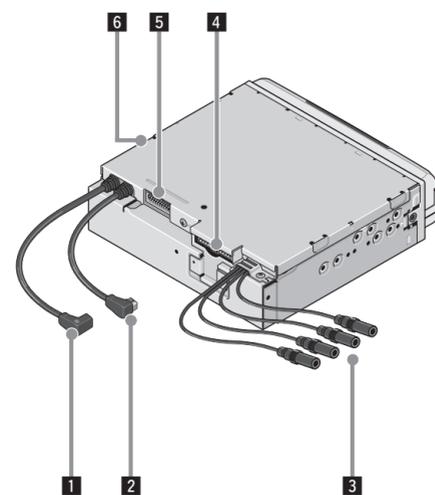
コネクタの着脱のしかた

コネクタは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続端子のなまえと働き



① IP-BUSまたは専用バス入力 (青)
IP-BUS出力や専用バス出力のある製品に接続します。

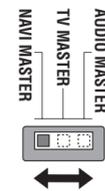
② IP-BUS出力 (青)
パイオニア製のIP-BUS入力のあるメインユニットに接続します。

③ TVアンテナ接続端子
別売のダイバーシティTVアンテナ (例:「AN-GT4」) を接続します。

④ 電源 / 映像入力 / 音声入力
付属の電源コードを使用して、車のバッテリーから電源をもらいます。

⑤ 20ピンRGB入力 (黄)
パイオニア製の20ピンRGB出力付きのナビゲーションと組み合わせるときに使用します。

⑥ モード切り換えスイッチ
ボールペンの先などで、スイッチを切り換えてください。



最初に使用するシステムを選んでください

本機と組み合わせるシステムにより、⑥モード切り換えスイッチを切り換えてください。

パイオニア製のDVDナビゲーションシステムと組み合わせる場合

NAVI MASTERモードにします。

操作は、本機とDVDナビゲーションで行います。

パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせる場合 (IP-BUS入力あり)

AUDIO MASTERモードにします。

音声は、メインユニットのテレビソースから出力されます。

操作は、本機とメインユニットで行います。

お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせる場合 (IP-BUS入力なし)

TV MASTERモードにします。

音声は、カーステレオのラジオのFMから出力されます。

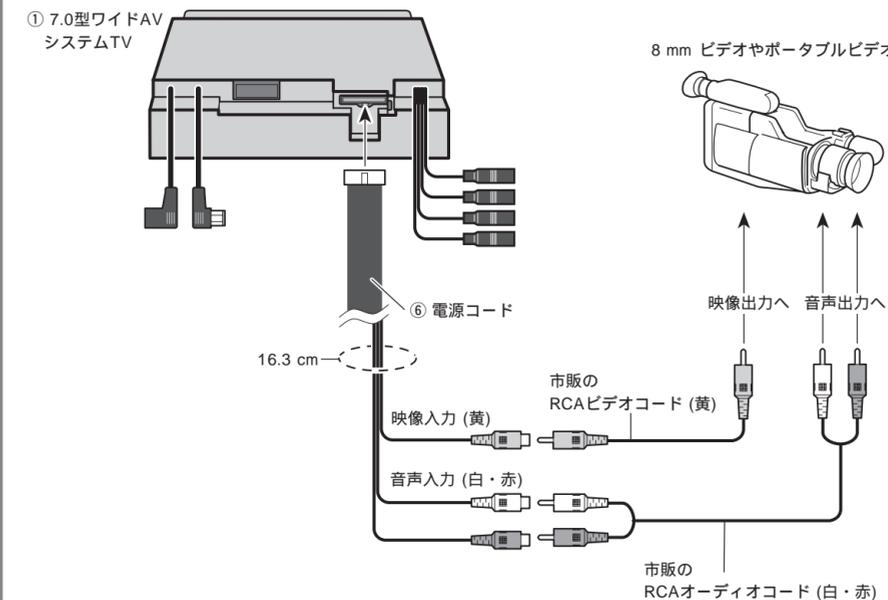
操作は、すべて本機で行います。

メモ

パイオニア製のDVDナビゲーションシステムとパイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットを組み合わせる場合は、NAVI MASTERモードにすることをおすすめします。(Lシステムの接続)

RCA映像/音声入力の接続

パイオニア製の20ピンRGB出力のないナビゲーションや8mmビデオ、ポータブルビデオを接続すると、その映像や音声を楽しむことができます。RCA映像/音声入力に接続したときは、設定メニュー・入出力設定の「映像入力」をONにしてください。ONにすると、接続した製品の映像や音声が切り換わります。(L取扱説明書)



メモ

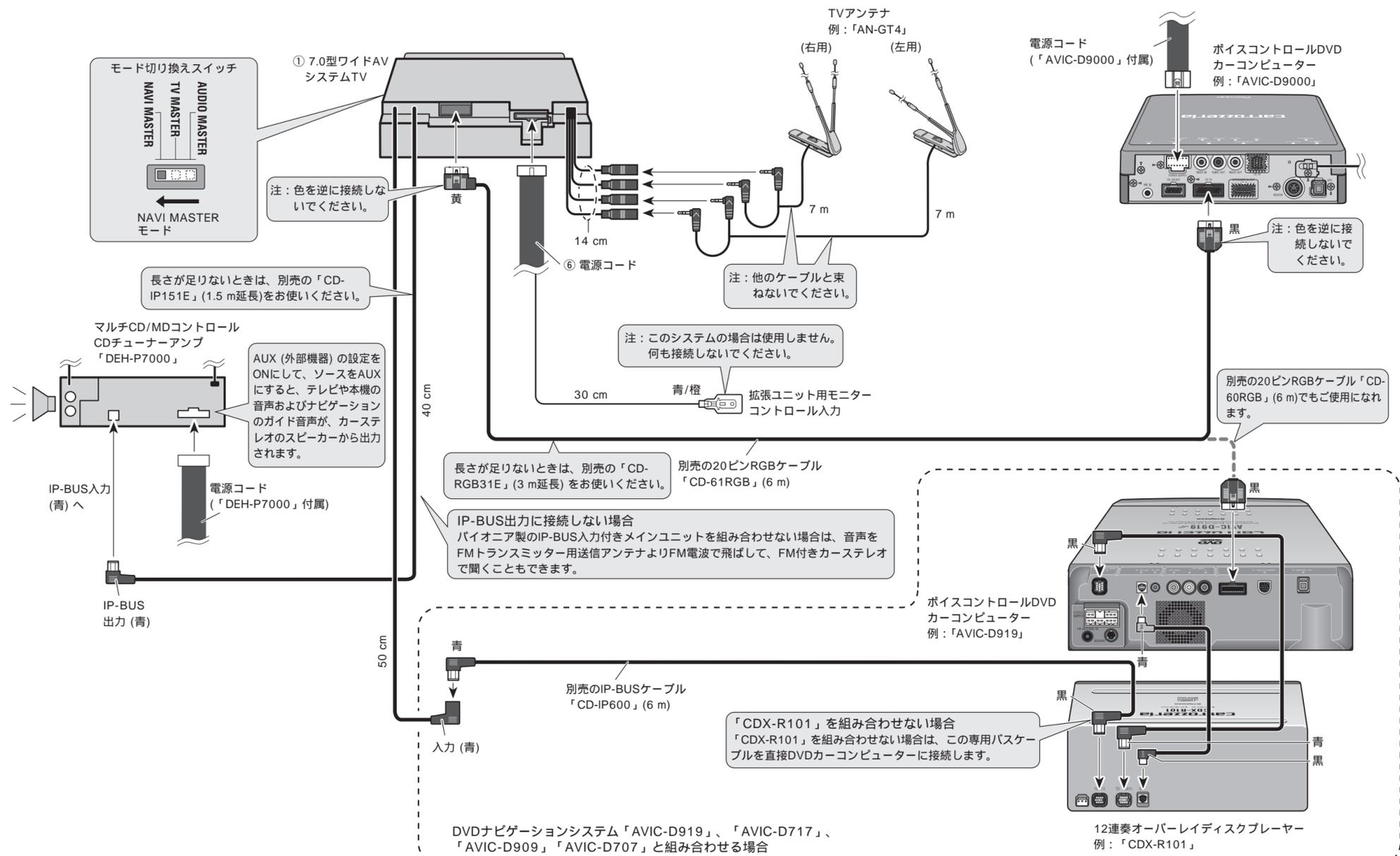
接続する製品の端子の形状に合わせて、各種変換コードをお使いください。

接続するときは、本機および接続する製品の電源をOFFにしてから接続してください。

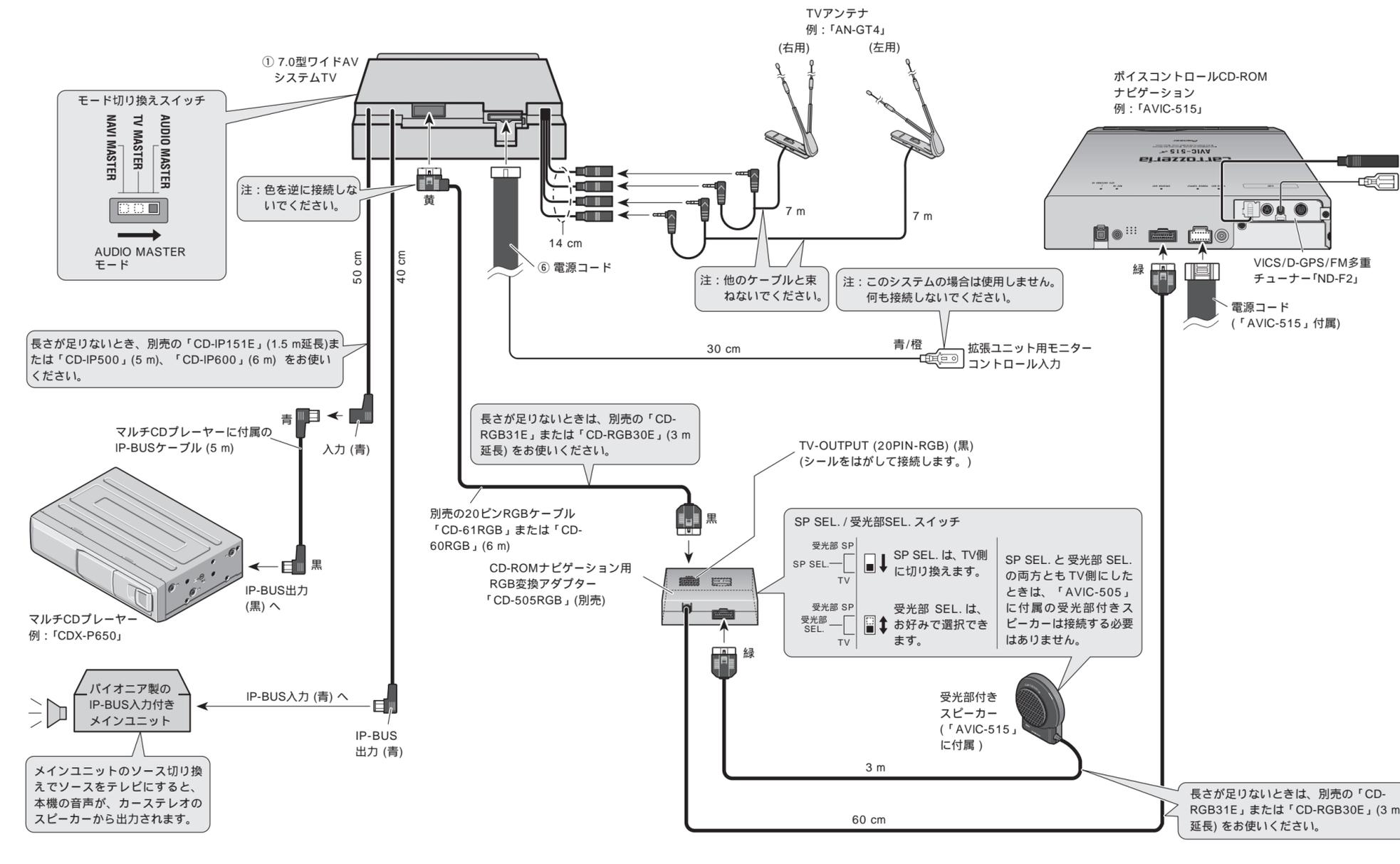
接続する製品の音声リモコン出力の場合は、音声入力のL側 (白) とR側 (赤) に接続できるように、市販の変換ケーブルをご使用ください。

システムの接続

(1) DVDナビゲーションシステムと組み合わせる場合 (NAVI MASTERモード)



(2) パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせる場合 (AUDIO MASTERモード)



取り付けの前に知ってほしいこと

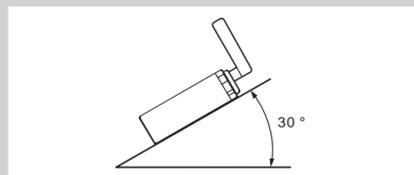
取り付け上のご注意

必ず付属のネジを使用して取り付けてください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためたり、モニター部が立ち上がらなくなることがあります。

本機とカーステレオを重ねて取り付けるときは、本機を上にして取り付けください。本機を下に取り付けると、モニター部が立ち上がったときに、カーステレオの操作ボタンを隠してしまい、カーステレオの操作の妨げになります。

車種によっては、モニター部が立ち上がったときに、車のエアコンなどの操作ボタンを押してしまうことがあります。このようなときは販売店にご相談ください。車種によっては、モニター部がコンソールやダッシュボードに当たってしまい、モニター部の角度を上向きに調節できない場合があります。

エアバックなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないように取り付けください。本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

車種や年式によっては、別売のバイオニア取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意しておりますので、販売店にご相談ください。

日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「AD-N980」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。

両面テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

ノイズ防止のために

TVアンテナのアンテナコードは、20ピンRGBケーブル、専用バスケーブル、IP-BUSケーブル、スピーカーコード、および電源リード線と束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

ナビゲーションと組み合わせる場合、TVアンテナおよびアンテナコードは、GPSアンテナやナビゲーション本体からできるだけ離して配置してください。TVアンテナの取り付けのしかたによっては、AM放送に雑音が入る場合があります。TVアンテナは、TVアンテナの説明書に従って正しく取り付けてください。

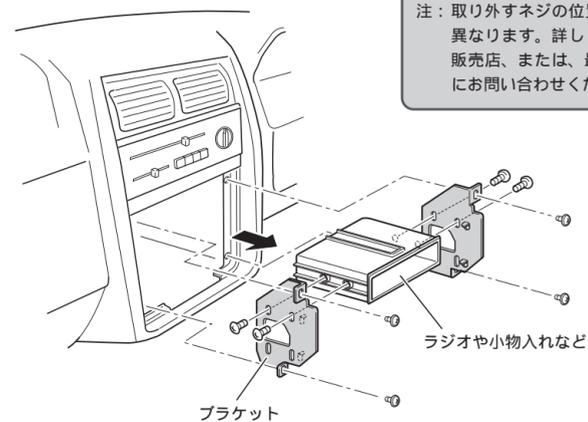
FMトランスミッター用送信アンテナをご使用の場合、FMトランスミッター用送信アンテナの引き回しによっては、雑音や感度が悪くなる場合があります。再度、FMトランスミッター用送信アンテナを引き直してください。

取り付ける

取り付け例 (トヨタ車、日産車への取り付け)

1 車側のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。

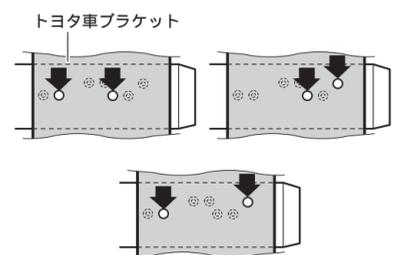


注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

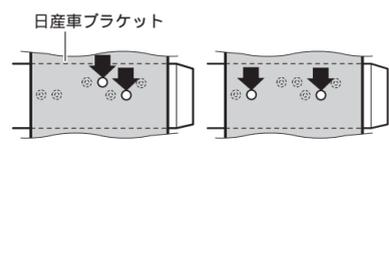
2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

トヨタ車の場合



日産車の場合



取り付けスペースの奥行きが少ない車に取り付ける場合

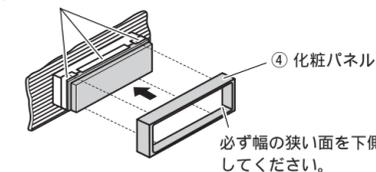
本機の奥行きは、カーステレオよりもやや長くできています。通常のネジ穴の位置でコンソールに収納できない場合は、使用するネジ穴を後側にずらして取り付けてください。

例：日産車の場合

	タイプ 1	タイプ 2
通常のネジ穴を使用する場合		
後側のネジ穴を使用する場合		

⑤ 両面テープ

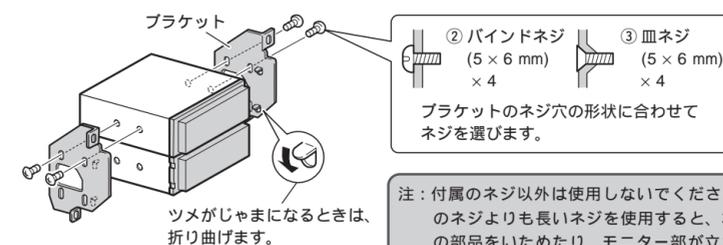
ネジ穴を後側にずらして取り付け場合は、手順3を行った後に付属の化粧パネルを本機前面に取り付けます。



必ず幅の狭い面を下側にしてください。

3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



② バインドネジ (5×6 mm) × 4
③ 皿ネジ (5×6 mm) × 4
ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。

ツメがじゃまになるときは、折り曲げます。

注：付属のネジ以外は使用しないでください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためたり、モニター部が立ち上がらなくなることがあります。

接続・取り付けが終わったら、動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

3 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

2 車のエンジンをかける



4 本機の動作を確認する (取扱説明書)